

県図なう。

鹿児島県立図書館の“今（ナウ）”をお知らせし、図書館と利用者をつなぐ情報紙です。

令和2年9月15日 発行
第114号（毎月15日発行）
<http://www.library.pref.kagoshima.jp>
Tel : 099-224-9511



鹿児島県立図書館

ホットニュース

海音寺潮五郎記念文化講演会のお知らせ

今回は、鹿児島生まれの直木賞作家 川越 宗一 氏の講演です！

鹿児島県出身の文豪「海音寺潮五郎」。県立図書館では、海音寺潮五郎の文業をたたえ、その功績を後代に伝えるとともに、文化の振興を図る目的で、県内の高校生による海音寺作品の朗読や歴史文学等に関する講演会を開催しています。今年、令和2年10月17日（土）の午後に、かごしま県民交流センターで開催する予定です。



川越 宗一 氏 『熱源』文藝春秋社



講演会の内容は、県立伊集院高等学校放送部の皆さんによる海音寺作品の朗読、『熱源』で、第162回直木賞を受賞された 川越 宗一 氏の講演です。

川越氏は、御両親ともに鹿児島県錦江町の御出身で、鹿児島県生まれ。今回の講演会では、当館の 原口 泉 館長が聞き手となり、壮大なスケールの作品が生みだされた背景や作品に込められた思いについて、たっぷり聞かせていただけることと思います。

講演会の詳しい内容は、当館のホームページ、館内ポスター・配布チラシで御確認ください。御来場を心よりお待ちしております。

図書館で探そう、調べよう！

～児童文化室での調査相談事例から～

「世界にはどんな伝統工芸があるのか知りたい」

ある日の夕方、児童文化室に一人の高校生が訪ねてきました。真剣に本を探している様子でした。

すると、「外国の伝統工芸について載っている本はありませんか。」と尋ねられました。そこで、芸術・工芸の分野に見当を付けて一緒に見てみましたが、児童文化室に所蔵する資料の多くは、日本の伝統工芸に関するものが多く、適当なものが見つかりません。詳しく聞いてみると、「日本の伝統工芸について調べるうちに、世界にはどんな伝統工芸があるのだろうと興味を持った。」ということでした。

「国によって伝統工芸の定義が異なるかもしれない」、「百科事典の方が見つかりやすいかもしれない」ということから、「国や地域」という視点から探してはどうかと、『ポプラディア情報館「世界地理」』（ポプラ社）、『体験取材！世界の国ぐに』（ポプラ社）などの百科事典を御紹介しました。また、「工芸品」（例えば、「ガラス細工」、「絹織物」等）という視点から探す方法もあり、見方を変え、キーワードに絞って探してみるとよいとお話ししました。

彼女は、「見方を変える」という点に納得したような表情を浮かべ、児童文化室から出て行きました。

その後、一般閲覧室の調査相談カウンターで紹介された世界の美術・工芸品に関する資料を調べる事ができたようです。彼女が、この夏、世界のすてきな伝統工芸と出会い、その国の地理や歴史にまで興味を持ち、さらに視野を広げてくださることを楽しみにしています。



新着図書案内

《一般図書》 9月8日（火）

- 『富山の置き薬 上』 富山市
- 『あしたの地震学』 神沼克伊/著 青土社
- 『大学1年生の君が、はじめてレポートを書くまで。』 川崎昌平/著 ミネルヴァ書房
- 『脱！SNSのトラブル 増補版』 佐藤佳弘/編著 武蔵野大学出版会
- 『ジブリ美術館ものがたり』 Kanyada Phatan/著 ディスカヴァー・トゥエンティワン

《児童図書》 9月22日（火）

- 『びんにいれたおほしさま』 サム・ヘイ/文 主婦の友社
- 『おめでとうかいぎ』 浜田 桂子/作 理論社
- 『消えた落とし物箱』 西村 友里/作 学研プラス
- 『あおいの世界』 花里 真希/著 講談社
- 『魔女と花火と100万円』 望月 雪絵/作 講談社

催し物の御案内

貴重資料紹介展・岐阜県図書館パネル展

(当館玄関ロビーにて、9月22日(火)まで)
 当館が所蔵する鹿児島城関連の貴重資料と、
 本県とつながりの深い岐阜県の岐阜県図書館が
 所蔵する治水工事関連のパネルを展示していま
 す。

県立図書館からのお知らせ
館内の工事及び蔵書点検等の特別
整理のため、10月1日～31日の期
間、休館いたします。詳しくは当館ホー
ムページ、館内チラシを御覧ください。

図書館職員のつぶやき

県立図書館の大きな役割の一つに「保存図書館」としての
 役割があります。設立から118年の間に、約87万冊の書籍、
 約2,400点余りの貴重資料を収集・保存しています。

図書については、100年以上前のもも閲覧・貸出するこ
 とができます。古い紙一枚に一冊分以上の重みがあるよう
 に感じられ、柔らかく手になじむ感覚はなんともいえません。
 現在とは異なる文章の形式や挿絵を見て、当時の生活を思
 い浮かべる楽しさもあります。

貴重資料については、何百年と言う長い間、焼失も汚損
 もすることなく、世代を超えて受け継がれてきたものです。そ
 の資料を見ることで、幕末の偉人たちの新たな一面を発見
 することもできます。現在、貴重資料展でその一部を展示中
 です。是非この機会に間近で御覧ください。

その他の資料についても、当館のホームページ・アーカイ
 ブ検索で御覧になれます。ぜひ御利用ください。

県立図書館に届いた「宝本」エピソード

今回紹介していただいた宝本は、ジュリエット・ダラス＝コンテ／文
 アリソン・バートレット／絵 たなかあきこ／訳の『コッケモーモー！』
 (徳間書店) です。

4月、新しいクラス、新しい友達にドキドキしている子どもたちを前に、担任の私もいつも
 ドキドキ……。

緊張をほぐすために、この本の読み聞かせをしています。毎回、2回以上読みます。2回目以降は子どもたち
 に、おんどり役になってもらっています。変わった鳴き方に笑いながら。キツネを追い払うところは大きな声で。
 最後の「コッケココー」では、みんな笑顔に。子どもたちとの出会いの場面で欠かせない、私の宝本です。



図書館クイズ

えほん『10までかぞえられるこやぎ』
 アルフ・プリョイセン／作 林明子／絵
 (福音館書店) からのクイズ です。

こやぎが5ばんめにかぞえたのは、だれかな？

- ①ぶたさん ②いぬさん ③ひつじさん

ヒント

ぶーぶー……だれかな？

答え、自分の名前、利用者カード番号を書いて、児童文化
 室にある箱に、9月30日(水)までに投入してください。正解者
 のなかから抽選で20人にしおりなどのプレゼントを差し上げ
 ます。

前回の答えは「②まきがい」でした。
 たくさんの御応募ありがとうございました。



図書館カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
9月	13	14	15	16★	17	18◇	19◆
	20	21	22□	23	24	25○	26
	27	28	29	30★	1	2	3
10月	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16○	17○

○ 開館時間 火曜日～土曜日:9時～21時

※ 児童文化室は19時まで

日曜日・祝日(白抜):9時～17時

- は、休館日
- は、学習室のみ開室(9時～17時)
- ★ は、おはなしのじかん(毎週水曜日 15時30分～16時)
- ◆ は、土曜版おはなしのじかん(第3土曜日 14時～)
- ◇ は、一般閲覧室新着図書の日(9月18日)
- は、児童文化室新着図書の日(9月22日)